

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第6週)

宮城県【平成27年02月13日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

— 2015.2.2 ~ 2.8 ・ 第6週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第3週	第4週	第5週	第6週
水痘	1 0.20	8 0.80	5 1.00	2 1.00	1 0.33	9 1.80		28 1.08	54 0.93	277	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎								2 0.08	2 0.03	34	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	67 13.40	141 14.10	53 10.60	17 8.50	33 11.00	58 11.60	30 15.00	419 16.12	818 14.10	3,677	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病				1 0.50	3 1.00			4 0.15	8 0.14	62	→	→	→	
伝染性紅斑	10 2.00	5 0.50	6 1.20		1 0.33	7 1.40	1 0.50	28 1.08	58 1.00	404	◎→	◎→	◎→	◎
突発性発しん	1 0.20	6 0.60	6 1.20	1 0.50	2 0.67		1 0.50	15 0.58	32 0.55	153	レ→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ								1 0.04	1 0.02	4	→	→	→	
インフルエンザ	239 29.88	212 14.13	180 22.50	37 12.33	141 28.20	285 35.63	93 23.25	620 14.76	1807 19.43	14,802	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱	1 0.20			1 0.50	1 0.33			7 0.27	10 0.17	60	→	→	→	
流行性角結膜炎								1 0.17	1 0.08	8	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8 1.60	33 3.30	7 1.40	4 2.00		45 9.00		128 4.92	225 3.88	773	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎							5 5.00		5 0.42	46	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	2 0.40	3 0.30	2 0.40	5 2.50	1 0.33	2 0.40		6 0.23	21 0.36	237	○→	レ→	○→	レ
拡大 疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	4	3	1					◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病										【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>			
	不明発疹症							2						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			1					1	66				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求められることになりました。

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2015年 第2週	23.6	18.8	10.7	4.4	9.1	9.1	9.4	7.0	3.8	2.2	1.9	2760
第3週	22.1	30.2	16.6	3.6	5.2	7.6	4.8	3.5	3.0	1.6	1.8	2764
第4週	19.6	35.4	21.3	3.2	3.0	5.9	4.1	2.8	2.1	1.1	1.4	3545
第5週	20.6	35.4	20.9	2.5	3.2	5.5	4.2	3.2	2.0	1.6	0.9	2786
第6週	20.0	33.6	23.0	3.0	2.2	5.5	4.8	2.7	2.7	1.5	1.1	1807

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第4週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では宮城県(86.05)、鹿児島(78.59)、山口県(75.12)が多い。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,644例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では6歳(112例)、1~9歳(323例)、10代(45例)、20代(14例)、30代(27例)、40代(25例)、50代(45例)、60代(141例)、70代(253例)、80歳以上(659例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は2,320例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約71%を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では島根県(5.48)、石川県(5.31)、鳥取県(4.63)が多い。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮城県(13.14)、福井県(12.68)、鳥取県(12.63)が多い。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では石川県(1.20)、高知県(0.88)、宮城県(0.83)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。22都道府県から70例報告があり、年齢別では0歳(6例)、1~4歳(55例)、5~9歳(5例)、10代(1例)、40代(1例)、50代(1例)、70歳以上(1例)であった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数

## 今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし \*男児、女児は6歳未満

2類感染症: 結核  
塩釜管内 男性1名  
登米管内 男性1名  
仙台管内 男性1名、女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: レジオネラ症  
塩釜管内 男性1名

5類感染症: アメーバ赤痢  
塩釜管内 男性1名(第5週)  
ジアルジア症  
仙台管内 男性1名  
梅毒  
気仙沼管内 男性1名(第2週)

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 23例

### 今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[感染性胃腸炎]  
仙南管内で警報継続中。  
[インフルエンザ]  
仙南、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼、仙台管内で警報継続中。  
塩釜管内で注意報継続中。  
[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]  
石巻管内で警報値を超えた。  
[伝染性紅斑]  
仙南、大崎、石巻管内で警報継続中。

### 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より  
塩釜管内 第4週採取分 ノロウイルスG II 1件  
インフルエンザ患者より  
仙南管内 第3週採取分 インフルエンザウイルスAH3 3件  
塩釜管内 第5週採取分 インフルエンザウイルスAH3 5件  
大崎管内 第4週採取分 インフルエンザウイルスAH3 3件  
登米管内 第2週採取分 インフルエンザウイルスAH3 4件  
気仙沼管内 第3週採取分 インフルエンザウイルスAH3 4件  
第4週採取分 インフルエンザウイルスAH3 4件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第4週採取分 (1.19~1.25)	第5週採取分 (1.26~2.1)	第6週採取分 (2.2~2.8)
インフルエンザウイルスA(H3)	9件	0件	0件
インフルエンザウイルスB	0件	2件	0件
RSウイルス	1件	2件	0件
アデノウイルス	1件	0件	0件
単純ヘルペスウイルス	0件	1件	1件

[感染性胃腸炎]

県全体の患者報告数は横ばいですが、仙南管内では流行が継続しています。引き続き手洗いの徹底など予防対策に努めてください。下記HPを参照・活用ください。  
・厚生労働省 ノロウイルスに関するQ&A  
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>